

通天湖（園部町）



丹政クラブ
中井 榮樹 議員

通天湖の湖底を干す事が不安解消に

専門家の意見を聞き検討する **市長**

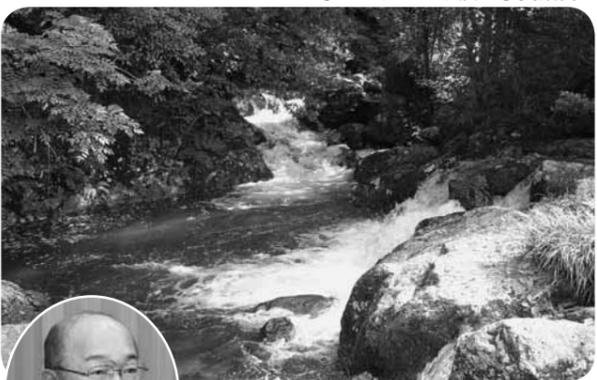
問 り深周辺の各企業並びに府や市は、検査をしているが、川の色は黒ずみ、悪臭がきつい状況である。景観上ダメージが大きく住民の心配や不満は大変なものである。早急に通天湖の水を抜き湖底を干すべきである。
市長 湖底を干す事で効果がどれだけあるのか、この事による波及効果、逆効果も、という指摘もある。しかし地元の要望、また、議員の指摘もあり、今後、十分専門家の意見

も聞き大河内地区の意見も賜り協議して行きたい。
デジタル対応に不平等
問 4月から市全域でCATVが供用されたが、合併前より施設のあった園部では、デジタル放送に対応出来ない部分が出てくる。（デジタル特有の鮮明画像に対応出来ない、インターネットのスピードが遅い等）早急に検討すべきである。
市長 園部では一部同軸ケーブルのため、イン

ターネットのスピードが若干遅いという事実はあるが、利用金額の差も付いている。また、光ファイバー化は国庫補助の関係もあり26年以降になる。
どうする塩漬け土地
問 市の土地開発公社が抱える簿価総額は37億6千万円であり、現状との価格差が大きすぎる。府からの公社経営健全団体の指定を受け、有利な起債と、利息等の交付税を受

けることが必要である。
市長 私も同感である。先行取得を南丹・京丹波地区土地開発公社に依頼した土地、大変大きなことになっている。この解消には、いま、市の持っている土地や施設、財産の有効利用を含めて、対処していく事が最重要施策の一つと認識している。

求められるり深の水質改善



日本共産党・住民協働市会議員団
大西 一三 議員

地球温暖化防止対策を市政の柱に

市全体で取り組むことが課題 **市長**

問 地球温暖化防止対策の基本的考え方と市としての具体的計画を伺う。
市長 市の事務・事業に関して取り組んでいる。今後、市域全体で取り組んでいくことが課題である。
問 地域振興・村おこしとして、地域特性を活用したCO₂削減策、地球温暖化防止対策の展開を図るべきだと考えるが。
市長 バイオマスタウン構想を策定し、未活用エネルギーの調査を行っ

た。
問 自然エネルギーの活用促進・開発を市が積極的に支援、リードしていくべきと考えるが。
市長 実用化、事業化には課題がある。今後の重要課題と認識している。
入湯税は市の財源
問 市内鉱泉浴場の現況、入湯者の状況と今後の温泉施策展開の見通しを伺う。
市長 2つの施設とも入込み客数は近年横ばいである。効果的で効果的な

運営を目指す。
問 地方税法は入湯税の課税を義務付けている。市内の温泉からなぜ入湯税が徴収されていないのか。
市長 広域的な性格を有するものとして取り扱いはして来たところから徴収していない。
問 入湯税を課税し、市税収入とする考えはないか。
市長 十分慎重に検討しなければならないと認識している。
り深の水質改善を

問 通天湖の常態化した褐色の湖水、魚の腐蝕したような悪臭は何が原因しているかと認識しているか。
市長 マス釣において、死んだ魚は速やかに撤去処分いただいていると認識している。
問 通天湖湖水の放流を行い、湖底を干すことがその対策として有効とされているが。
市長 大河内区からも意見・要望がある。十分に協議し、専門家の意見も聞き進めていく。

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

9月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。（質問順に掲載）



活緑クラブ
高橋 芳治 議員

カンボ再開にあたって直下流である地区にも説明報告を

市長 地区から要請があれば説明に伺う

問 今回の事故で、隣接する八木町北地区、美里、室河原区長連名で、周辺地域として説明報告を行ってほしいといった要望書が市長に提出されている。しかし、何の説明報告もないことで、住民は大きな不安を抱いたままで非常に心配されている。当然、直下流でもあり、説明報告する責任があると思うが。
市長 地域からこの状況について説明してほしいという要請があれば、市

として説明に伺う。
周辺住民とはどの範囲か
問 専門家会議のコメントの中で「積極的な情報公開等を行い、周辺住民に対する説明を行い、周辺住民に対する説明責任を果たすこと」と明記されている。市長は周辺住民とはどの範囲を考えているのか。
市長 周辺住民とは、確認をしていないが、市としては本施設の建設の経過や、公害防止協定書の

締結などの観点から、市としては川辺地区を周辺地域と認識している。
カンボ社長が宣言された「撤退」の言葉を文書で残すべきである
問 高屋公民館での説明報告会で「再び事故が起きればどうするのか」の質問にカンボ社長自ら「再び事故を起こせば撤退する」と宣言された。市として、口約束だけでなく細目書等に文書で残すべきである。
市長 操業している最高

責任者である社長の発言として正に公衆の面前で発言された内容であり、このことをもって大変重要な意義があると認識している。



南風会
村田 憲一 議員

カンボリサイクルプラザ 9月16日より再稼働

市長 責任を十分認識し対応していく

問 カンボの社長が、二度と不祥事は起こさない、もし起こせば即撤退すると断言されたが、市長としてその保証をどうとるつもりか伺う。
市長 当然、私に与えられた権限なり責任を十分認識し対応していく。社長の表明された言葉は重大な意義があると思う。このような観点にたち今後このような事のないよう、市としても努力し、各種の施策を講じていく。

私どもに与えられた権限をフルに活用して行きたい。
監視委員会の立ち上げが急務と思うが
問 この場にいたっては住民にとって、協定細目書がすべてである。今後は監視委員会を一日も早く立ち上げて、細目書が遵守されるよう監視の目を強めることである。委員会はいつ頃を目処に考えているのか市としての対応を伺う。

市長 この委員会には市役所から2名の委員を選出する。地元の皆さんと協議を進めていくところである。
市政懇談会での意見や提言を市政にどう反映するのか
問 市政懇談会が全市域で開かれ、18会場の延べ出席者は716人で、低調に終わったと思う。各会場ともに総合振興計画と財政状況の説明に終始し、本来の懇談会とは少し違ったので

はなかったか。市長は全体的に見てどのように評価され今後どういかしていくつもりか伺う。
市長 私は大変意義のある懇談会であったと認識している。今後色々な課題について検証し、どのような形で開催するかも含めて検討していく。市民の考えやご意見をどう市政に反映していくか検討し、具現化に向けて努力していく。